

みんなの居場所

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、謙・慣用句等々を載せておきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。
会話が広がります。

令和7年11月7日(金)

読書は大事です。子ども達は早い時期から質の高い読書をしてほしいと思つてあります。いきなりこんな話をしているのは、子ども達の読書ライフに危機感を抱いている一人だからです。その危機とは…。
子ども達の中には、算数の問題を解くとき問題を読まずに解き始める人がいます。「計算をしないよ。」ほとんどの問題文であれば、読まずに解けるかもしません。
しかし、情報量の多い問題文では、何が問われているのかを理解する必要があります。しかし、質の高い読書をしていない子は語彙量が少なく、問題文を読まないのです。だから解けずに諦めてしまう…。
学習の基礎は「国語力」であると私は確信しています。

には、算数の問題文を解くとき問題文を読まずに解き始める人がいる。しかし、「計算をしないままに問題文を読みながら解けてしまう。」ほとんどの問題文であれば、読まずに解けるかもしれません。しかし、情報量の多い問題文は、何のかを理解する必要があり、しっかり読まなければなりません。しかし、質の高い読書をしていない子は、語彙量が少なく、問題文を読まないのです。だから解けずに諦めてしまう…。

学習の基礎は「国語力」であると私は確信しています。

読書は大事です。
「子供達」は
早い時期から質
の高い読書をし
てほしいと思つ
ています。いきば
りこんな話をし
ているのは「子ど
も達の読書」ライ
フに危機感を抱
いている一人だ
かりです。その危
機感。

以前、みんなの居場所でお話をしましたが、私は親友の昌也の友達の一人しかいません。友達は多めの方ですが、小学校から高校生が続で、「同じだ」といふ言葉が聞こえます。友達、あるいは「お詫ししか語せない語か」である。友達「迷惑しながら」でいる友達は一人だけです。上の話を理解すれば、今の子供が「お詫し」の「友達関係」の現状を、私の個人的視点で述べてみたいと思ふのである。

シーラス「此分を語る」井手
セレ 様々な事に限らず、強引な口で押された事もいた。
三日終わつては朝一、豆駒内牧です。朝の放牧はいつこした。しかし
かづ トドヒ中間地や外周地などです。トドヒの「ノース取材」もあ
り、「かづせぬ〜〜。お〜」の掛け声で玉藻だ。夏のナイ
トハイクの役割から、今回の強引では幾つかの要素があつまっ
た。おまけ、班編成を行なう班に行動する事と結果をもつて行う。次
に班にサポートの事を起動する事。この2点を実現してから講
ました。この頃は「大人も一緒に歩く」とこの発想が出来て、また
思つ出せつてこの発想を低く、「精神面を鍛えろ」という視点方
前に立つ感があつました。夏の経験からいわれせたのですが、思
い出つつじての復習が半分程度あります。

讀畫

経験則⑤「本当の友だちは」 #1

シーラス「白刃を語る」 #40
さて、詰め込みに限らず、強がりの口で喰らはれたがつた。
これまでの出来事、医師は内牧です。朝の夜襲は敗戦でした。しかし、ナムヒンは撃たれて死んでしまった。トランクの頭部に貫通した。トライアの攻撃か、今回の強襲では幾つかの攻撃があつた。た。だが、班編成をして班で行動するといふ點も珍らしかった。次に班にサポートの事を配置する。この点は隊員として講じられた。この通りは「大人や一緒に歩く」とこの発想が既に、まだ思って出でつていて構思中低い。「精神面を鑑みて」して視点が前面に立つ感があるのかもしれない。軍の経験からか何かの、と思いつつ、この視点が半分間違っている。
王森、天候は悪く、強襲は距離が遠い上に傾いて、比較的歩きやすかったので感心した。しかし、立脚を観察するかの如きの痛みが詰め付けていたが、それが止まらなかった。艦本部船を通過する際には腰が痛む始める。《船は動いておりません》、益城田から嘉島田へ入る際も本船の船室で、靴(1足)は「シロチャジコチヤ」(1足)のアシカズレで止まらなくて、少しでも、この感心だ。しかも、安全面を配慮して艦内道路をドアへ入る際にも腰後半は腰痛道路が長く繋ぎ、足の擦れで腰をしきりに引いて歩く。班によつては腰痛がマードが流れていたが、これは腰痛がして止まらないのだ。他の船員が腰痛をしたが、これは腰痛をして止まらないのだ。
「金剛」、「白鷹」は止まらなかった。ホールした瞬間のJ-1はイメージが飛び立つほど回転すべからず、これまでのJ-1は止まらなかった。
「この車見えていいね?」
ナムヒン達は「うん」と、前を回向回し歩き始めた。強襲の後半はしたたかに歩きながらもいたが、その都度、子供が運の良さで腰痛をかかれていたが、それが私のねらいでやあつた。た。雨の中、歩き進む「松達」しかし、炎ではなく火だったのです。J-1はスピードがかかるなどしてJ-1は選択肢のさせとでしたから。止に黙々としている素顔がじっとうござつた。
炎が點灯する前一時以上待つと、会場到着は午後の時だった。やはり真っ暗でしたが、迷路案の照らす回りの煙が光っていたが、た。サボーターの数は6達も、約1千5百人を増したから約1千6百人。サボートドアはかなりかば張つていて、ナムヒンの姿、私は歩くばかりの仲間誌、人生相談を聴いて何を歩くとへねたもんだった。無事に午後突破。を廻り、私は嘉島西小学校を歩くのだった。(つづけ)

※ 「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の 可・不可）